

* 第67回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会 島根大会に参加して *
徳島県立徳島北高校PTA会長 田原 典郎



第67回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会・松江大会が、令和7年7月11日（金）に島根県松江市くにびきメッセにおいて、「神話の郷に集う緑～新時代を生き抜く力を～」をテーマに、各地から約1,100人の会員が集い盛んに開催されました。

開会行事では、中国四国地区高等学校PTA連合会長からの素晴らしい挨拶から始まり、続いて全国高等学校PTA連合会長、地元行政・教育関係のご来賓の方々よりご祝辞を賜りました。

記念公演では、島根県浜田市在住でアニメ作品のメカニックデザインで有名な山根公利氏による、「ITから生まれる人の幸せとは何か？」と題した公演が行われました。町内会での草刈りや中学校でのふるさと学習への参加など地域での活動をはじめ、メカニックデザイナーとしての仕事についてもいろいろなお話を伺うことができました。

「故郷の文化をもとにした想像力は外の世界では個性となる」という言葉がとても印象的であり、また、「社会の中で子どもの成長教育が一番大事」という言葉には、これからの時代を生きる子ども達のため、我々大人たちの在り方や幸せの価値観を見つめ直す大切さを深く考えさせられました。

昼食では美味しいお弁当に舌鼓を打ちながら、会場内に設けられた物産品販売のコーナーを物色しました。準備されたお土産は県内の高校生たちの日頃の活動の中で制作したものもあり、参加者の方々にも非常に好評でした。

昼食を挟み高校生による活動発表では、島根県内校3校からそれぞれ「郷土芸能部 石

見神楽」「ダンス部 ダンス」「出農太鼓部 和太鼓」が発表され、会場はこの日一番の熱気に包まれました。石見神楽は今までも何度か観覧したことがありましたが、それらに遜色ない圧巻の演舞を繰り広げる子どもたちには、他県の方々からも感動を呼び、大きな拍手で子どもたちを労いました。

大会の最後は、岡山県・愛媛県・島根県を代表する各高校のPTA会長から活動の報告を研究協議として発表いただきました。金光学園中学・高等学校やつなみ保護者会からは「子とともに育つ～金光学園やつなみ保護者会のあゆみ～」を、今治東中等教育学校PTAからは「生徒の夢を支えるPTAの役割～教職員との連携による6年間の教育支援～」をテーマに発表され、教職員・保護者が一体となって子どもたちを支える取組みは、学ぶ部分も多く、今後自校での取組みにどう活かしていくかを深く考えることができました。また、隠岐高等学校PTA発表の「人情の島が創る隠岐高校～地域が育む高校魅力化～」では、地域の担い手不足に陥っている現状課題から、将来子どもたちが島に帰ってきたいと思えるまちをあげた取組みを聞き、同じ課題を持つ自分たちのまちの現状に大きな共感を得られる内容であり、もっと深く知りたい・学びたいと思える内容でした。

最後になりますが、まずはこのような素晴らしい大会を県連あげてご準備・お出迎えをしていただいた島根県連の皆様方に感謝の意を申し上げます。自身初めて中国・四国大会に参加させていただきましたが、こういった大会を成功させるには揺るぎない信念と意思を共有することに加え、何より県連会員同士の大きな繋がりがとても重要だと深く感じました。数年後には徳島県でも同大会が開催される運びであると聞き、そこに向け私たちもより一層の絆を広げていくべく、現状大きな不祥事により連携に綻びが生じているところではありますが、1日も早く連合会を立て直し、信頼を回復し、それに伴う活動を行っていくことが急務であると考えます。未来に向け共に頑張っていきましょう！